

久留米大学文学部紀要
情報社会学科編第15号(2020)

『シカゴ・スタイル：研究論文執筆マニュアル』7版，8版，9版の比較 —オンライン情報に注目して—

遠山 潤

Comparison of “A Manual for Writers of Research Papers, Theses, and Dissertations” between 7th, 8th, and 9th edition: focusing on online sources

Jun TOHYAMA

【要約】本稿は、『シカゴ・スタイル：研究論文執筆マニュアル』(*A Manual for Writers of Research Papers, Theses, and Dissertations*)が、7版(2007)から8版(2013)を経て9版(2018)に至るまでの11年間に、インターネット上に存在する情報を論文に引用する時の取り扱い方をどのように変化させてきたのか、という問いに対する調査の結果報告である。

最初に7版、8版、9版の第1章-第26章の目次構成全体を概観し、次に第15章-第17章の目次と本文の変化を比較した。本文は、オンライン情報の引用に関わる変化を対象とした。

その結果、第1章-第26章の目次構成全体は変わらないものの、9版の第17章 17.5-17.10については、目次の配列順序・階層構造・用語選択すべてに再編の跡が見られた。

オンライン資料そのものに関し、7版は非公式なものであり本質的に信頼性が劣ると評価したが、8版9版はオンライン情報は変更を受けやすく権威と信頼性が疑われるという指摘に留まった。

オンラインの学術雑誌記事に関し、7版は新種の資料として独立した目次を立てていたが、8版9版は特別の目次を立てず、オンラインの記事を媒体の違いとして指示・例示し、記事一般として扱うようになった。

原典を同定する要素として、7版8版は広くアクセス日を認めていたが、9版では、原則としてアクセス日を認めず、DOIの方を重要視するようになった。

【キーワード】シカゴスタイル，インターネット，引用，オンライン情報，学術論文

1. 目的

本稿の目的は、アメリカで論文を書く人たちから定評を得ている『シカゴ・スタイル：研究論文執筆マニュアル』(*A Manual for Writers of Research Papers, Theses, and Dissertations*)の7版(2007)から9版(2018)までの11年間におけるオンライン情報の引用に関する指針の変化を明らかにすることにある。

2. 対象と方法

調査対象である『シカゴ・スタイル：研究論文執筆マニュアル』(*A Manual for Writers of*

Research Papers, Theses, and Dissertations) は、シカゴ大学の論文担当事務官だったケイト・L・トゥラビアンが1937年に編纂した論文執筆者のためのガイドラインに端を発している。その後改版を経て、2007年、*A Manual for Writers of Term Papers, Theses, and Dissertations*. 6th ed. に「第I部」を追補する形で、『シカゴ・スタイル：研究論文執筆マニュアル』(*A Manual for Writers of Research Papers, Theses, and Dissertations*. 7th ed.) が出版された。内容は、*The Chicago Manual of Style* に完全準拠しており、その後、8版(2013)、9版(2018)と版を重ねて現在に至る。

『シカゴ・スタイル：研究論文執筆マニュアル』(*A Manual for Writers of Research Papers, Theses, and Dissertations*. 7th ed.) は、「第I部 研究と論文執筆 (Part I Research and Writing)」、 「第II部 原典の明示 (Part II Source Citation)」、 「第III部 文体 (Part III Style)」の3部から成る。

本稿は、まず7版から9版までの全体の目次構成(第1章－第26章)を概観した後、第II部(第15章－第17章)の目次と本文を比較する(第II部第18章、第19章は第16章、第17章と引用方式が異なるだけであり、省略)。目次については、項目の順序・構成と題の用語を調査し、本文については、オンライン情報の引用に関し版の改訂に伴う変更があった箇所を対象として調査する。目次・本文を紹介する際、7版は沼口隆・沼口好雄訳(慶應義塾大学出版会 2012)を使用し、8版9版は必要に応じて筆者訳を使用する。

3. 結果

本書全体及び第15章－第17章の目次構成を比較した結果を表1－表5に示し、各表ごとに本文を7版、8版、9版の間で比較した結果を以下にまとめる。なお、第16章、第17章の引用法に関する指示・例示は注記(Notes)と参考文献目録(Bibliography)の2種類に対して記述されている。本稿ではとくに区別しないが、例示が注記(Notes)だけの時は「例示(N)」と表わしている。

3.1 全体の目次構成

表1は、本書の第I部－第III部(第1章－第26章)全体の目次の変化を表している。7版から8版へ改訂される時、番号または題のどちらかが変化した場合は8版に番号・題を記載し、両方共に変化が無い時は8版の欄をスペースにしている。8版から9版に対しても同様である。例えば、「第1章 研究とは何か、また研究者はそれについてどう考えるか(1 What Research Is and How Researchers Think about It)」は7版から9版まで番号・題ともに同一、「第2章 トピックから問題、問題から作業仮説へ(2 Moving from a Topic to a Question to a Working Hypothesis)」は7版と8版は同一だが9版で題が変化、「第18章 カッコ入り出典－参照リスト方式：基本型(18 Parenthetical Citations-Reference List Style: The Basic Form)」は、8版で題が変化し9版は8版と番号・題ともに同一、というように読む。(以下、表2－表5も同じ)

表1を見ると、目次構成に変更は認められない。また、第2章、第4章、第5章、第7章、第12章の題の用語を9版で変えているが、内容は同じである。第18章、第19章の題は Parenthetical Citations-Reference List Style から Author-Date Style へ8版で変化しているが、同一方式の言い方を換えたものである。

【表1】 目次（1-26）比較

7th edition	8th edition	9th edition
Part I Research and Writing: From Planning to Production		Part I Research and Writing
Overview of Part I		
1 What Research Is and How Researchers Think about It		
2 Moving from a Topic to a Question to a Working Hypothesis		2 Defining a Project: Topic, Question, Problem, Working Hypothesis
3 Finding Useful Sources		
4 Engaging Sources		4 Engaging Your Sources
5 Planning Your Argument		5 Constructing Your Argument
6 Planning a First Draft		
7 Drafting Your Report		7 Drafting Your Paper
8 Presenting Evidence in Tables and Figures		
9 Revising Your Draft		
10 Writing Your Final Introduction and Conclusion		
11 Revising Sentences		
12 Learning from Your Returned Paper		12 Learning from Comments on your Paper
13 Presenting Research in Alternative Forums		
14 On the Spirit of Research		
Part II Source Citation		
15 General Introduction to Citation Practices		
16 Notes-Bibliography Style: The Basic Form		
17 Notes-Bibliography Style: Citing Specific Types of Sources		
18 Parenthetical Citations-Reference List Style: The Basic Form	18 Author-Date Style: The Basic Form	
19 Parenthetical Citations-Reference List Style: Citing Specific Types of Sources	19 Author-Date Style: Citing Specific Types of Sources	
Part III Style		
20 Spelling		
21 Punctuation		
22 Names, Special Terms, and Titles of Works		
23 Numbers		
24 Abbreviations		
25 Quotations		
26 Tables and Figures		

3.2 引用の慣行についての概論

表2は、「第15章 引用の慣行についての概論（15 General Introduction to Citation Practices）」の目次の変化を示したものである。引用の方式には7版で言うところのBibliography Style（15.3.1）とReference List Style（15.3.2）の2種類がある。7版8版のBibliography Style（15.3.1）と9版のNotes Style（15.3.1）は、共にNotes-Bibliography Styleの略称である。7版のReference List Style（15.3.2）は、Parenthetical Citations-Reference List Styleの略称で、8版、9版のAuthor-Date Style（15.3.2）は、その言い方を換えたものである。目次構成は同一であり、題も用語の変更はあるが内容の変化は見られない。

【表2】 目次（15）比較

7th ed.	8th ed.	9th ed.
15 General Introduction to Citation Practices		
15.1 Reasons for Citing Your Sources		
15.2 The Requirements of Citation		
15.2.1 Situations Requiring Citations		
15.2.2 Information Required in Citations		
15.3 Two Citation Styles		
15.3.1 Bibliography Style		15.3.1 Notes Style
15.3.2 Reference List Style	15.3.2 Author-Date Style	
15.4 Citation of Electronic Sources		
15.4.1 Online Sources		15.4.1 Sources Consulted Online
15.4.2 Other Electronic Media		
15.5 Preparation of Citations		
15.6 A Word on Citation Software	15.6 Citation Management Software	15.6 Citation Management Tools

以下、表2の本文について比較する。

(1) オンライン情報 (Online Sources)

7版の15.4.1 (Online Sources) は、オンライン情報に対し、「オンラインで利用できる資料は、印刷された資料より本質的に信頼性が劣る。」「組織または個人のウェブサイトやメーリング・リストのようなオンライン情報には、このメディアに特有のものがある。これらの資料は、標準的な出版情報の多くを欠いているので、「非公式に出版された」と考えられている。」と説いている。また、7版の15.4.2 (Other Electronic Media) には、「CD-ROMのようなほかの電子メディアで利用できる資料は、オンラインで公開されたものより信頼できる」といった表現もある。8版以降こうした言い方は見られないが、オンライン情報は変更を受けやすく予告も無く消える性質があるという点には言及しており、そのことが情報の権威と信頼性を疑わせると指摘している。

(2) URL, DOI

7版の15.4.1 (Online Sources) は、URLとDOI (Digital Object Identifier) に対し、「もし資料が、URLの代わりにデジタルオブジェクト識別子 (DOI)、または別のシステムの恒久的識別子を使っているなら、引用でもそれに適合した位置指定子を使うようにしよう」と指示している。8版は、DOIに基づくURLを「一般のURLより持続的で安定的」(15.4.1.3)、9版は「他のほとんどのURLよりは信頼できる」(15.4.1.3) としている。

3.3 注記式参考文献目録方式：基本型

表3は、「第16章 注記式参考文献目録方式：基本型 (16 Notes-Bibliography Style: The Basic Form)」の目次の変化を示したものである。前節で述べたように、引用には2種類の方式がある。第16章、第17章は人文科学全般や一部の社会科学で用いられる方式 (Notes-Bibliography Style) を扱っていて、第18章、第19章は大部分の社会科学、および自然科学と物理学で使われる方式 (7版では Parenthetical Citations-Reference List Style、8版9版では Author-Date Style) を扱っている。両者は標準的引用の2大方式と呼べるもので、本稿は第16章、第17章の方式を対象としている。第16章の目次構成は同じで、題も16.1.4は7版 (Typography of Titles) から8版 (Italics and Quotation Marks) へ用語を変えているが、内容の

変更は見られない。

【表3】 目次(16) 比較

7th ed.	8th ed.	9th ed.
16 Notes-Bibliography Style: The Basic Form		
16.1 Basic Patterns		
16.1.1 Order of Elements		
16.1.2 Punctuation		
16.1.3 Capitalization		
16.1.4 Typography of Titles	16.1.4 Italics and Quotation Marks	
16.1.5 Numbers		
16.1.6 Abbreviations		
16.1.7 Indentation		
16.2 Bibliographies		
16.2.1 Types of Bibliographies		
16.2.2 Arrangement of Entries		
16.2.3 Sources That May Be Omitted		
16.3 Notes		
16.3.1 Footnotes versus Endnotes		
16.3.2 Referencing Notes in Text		
16.3.3 Numbering Notes		
16.3.4 Formatting Notes		
16.3.5 Complex Notes		
16.4 Short Forms for Notes		
16.4.1 Shortened Notes		
16.4.2 Ibid.		
16.4.3 Parenthetical Notes		

以下、表3の本文について比較する。

(1) URL, アクセス日 (Date of Access), DOI

本文中の図16.1の7 (Journal Article Online) に依ると, オンラインで入手した論文を引用する場合の URL, アクセス日, DOI に対する扱い方の変化がわかる。7版では URL, アクセス日の順, 8版ではアクセス日, URL (DOI 含む) の順に記載するが, 9版ではアクセス日が消え URL (DOI 含む) だけになっている。

(2) 印刷する (print)

7版8版で使われた「印刷する (print)」(16.3.1) (16.4.1) という用語が, 9版で「提示する (present)」(16.3.1), 「置く (put)」(16.4.1) に用語を変更している例が見られた。このように紙媒体だけに使える用語から全資料種を対象として使える表現に変更された例は, 表4の「現れる (appear)」(17.1.6.2) にも見られる。

3.4 注記式参考文献目録方式：特定の種類の資料の引用 (17.1-17.4)

表4は, 「第17章 注記式参考文献目録方式：特定の種類の資料の引用 (17 Notes-Bibliography Style: Citing Specific Types of Sources) 17.1-17.4」の目次変化を示したものである。7版の17.1.7 (Page Numbers and Other Locating Information) の中に「URL, 恒久的情報識別子, アクセス日, および説明的位置識別子」の小項目が設けられ, オンライン出版の書籍を特定する情報の一部として, URL, アクセス日が指示されているが, 8版9版ではその項目が無い。また, 7版は

17.2 (Journal Articles) の下位項目として17.2.7 (Articles Published Online) を設けているが、8版9版には17.2.7に該当する項目が無い(前版に対応する項目が消えたものは表中にアスタリスク*を付している、以下同じ)。9版の17.2.7 (Abstracts) は別の内容で使われている(表5)。それ以外に目次構成に変化は無く、題も用語の変更に留まっている。

【表4】 目次 (17.1-17.4) 比較

7th ed.	8th ed.	9th ed.
17 Notes-Bibliography Style: Citing Specific Types of Sources		
17.1 Books		
17.1.1 Author's Name		
17.1.2 Title		
17.1.3 Edition		
17.1.4 Volume		
17.1.5 Series		
17.1.6 Facts of Publication		
17.1.7 Page Numbers and Other Locating Information	17.1.7 Page Numbers and Other Locators	
17.1.8 Chapters and Other Titled Parts of a Book	17.1.8 Chapters and Other Parts of a Book	
17.1.9 Letters and Other Communications in Published Collections		
17.1.10 Online and Other Electronic Books	17.1.10 Electronic Books	
17.2 Journal Articles		
17.2.1 Author's Name		
17.2.2 Article Title		
17.2.3 Journal Title		
17.2.4 Issue Information		
17.2.5 Page Numbers and Other Locating Information	17.2.5 Page Numbers	
17.2.6 Special Issues and Supplements		
17.2.7 Articles Published Online	*	
17.3 Magazine Articles		
17.4 Newspaper Articles		
17.4.1 Special Format Issues	17.4.1 Name of Newspaper	
17.4.2 Special Types of Newspaper Citations	17.4.2 Citing Newspapers in Notes	
	17.4.3 Citing Newspapers in Text	

以下、表4の本文について比較する。

(1) 電子書籍 (Electronic Books)

7版の17.1.10 (Online and Other Electronic Books) は、電子書籍をTK3 Reader e-book, Rocket e-book と例示している。8版はProQuest Ebrary, Adobe PDF eBook, Kindle (17.1.10), 9版はAdobe Digital Editions PDF, Kindle, iBooks, ProQuest Ebrary (17.1.10) と例示している。7版8版はアクセス日の指示と例示があり、9版では指示・例示ともに無い。

(2) オンラインで公表された記事 (Articles Published Online)

前述のとおり、7版の17.2.7 (Articles Published Online) に該当する項目は、8版9版には無い。8版9版は、オンライン記事に対し、17.2 (Journal Articles) 全体で指示している。7版はURL, アクセス日, ページ番号を指示し、8版はURL, アクセス日を指示し、9版はDOIがあればDOIを<https://doi.org/>に付加するよう指示している。

(3) 雑誌記事 (Magazine Articles)

7版8版の17.3 (Magazine Articles) は、オンライン雑誌記事に対し、URL、アクセス日を指示・例示している。9版は、URL または商業データベース名が指示・例示 (EBSCO-host) されている (17.3)。

(4) 新聞記事 (Online Newspaper)

7版の17.4.2 (Special Types of Newspaper Citations) は、オンライン新聞に対し、URL、アクセス日を指示・例示している。8版は、URL、アクセス日を指示・例示し、商業データベースで入手したときは、アクセス日とデータベース名を指示・例示 (LexisNexis Academic) している (17.4.2)。9版は、URL を指示・例示し、商業データベースで入手したときは代わりにデータベース名を指示・例示 (LexisNexis Academic) している (17.4.2)。

3.5 注記式参考文献目録方式：特定の種類の資料の引用 (17.5-17.10)

表5は、「第17章 注記式参考文献目録方式：特定の種類の資料の引用 (17 Notes-Bibliography Style: Citing Specific Types of Sources) 17.5-17.10」の目次変化を示したものである。

7版の内容に合わせて8版9版を排列しているため、7版8版の17.5-17.10の番号は9版ですべて入れ替わっていることがわかる。この改編の中で、7版の17.7 (Informally Published Electronic Sources) は8版では題の用語変更に残っているが、9版では17.5 (Websites, Blogs, Social Media) へ、つまり前方へ移動している。また、7版8版の17.5.1-17.5.9と17.6.1-17.6.4は、9版で大幅な目次項目の編成替えを受けている。その変化は、分散 (17.5.1-17.5.9から17.8.1, 17.8.2, 17.9.1, 17.9.2, 17.2.7, 17.7.3, 17.7.5へ、17.6.1-17.6.4から17.7.1, 17.7.2, 17.6.1, 17.6.2, 17.7.4へ)、昇格 (17.5.3から17.9へ、17.6.3から17.6へ)、降格 (17.10から17.9.3へ) を同時に組み合わせたものとなっている。そして、7版の17.8.3-17.8.6は、8版の一部変更を経て9版では17.10.3 (Multimedia) に一括編入されている。

表5は、目次の構成だけでなく題も変化が激しい。7版の17.7.1 (Web Sites) から8版の17.7.1 (Websites)、7版の17.7.2 (Weblog Entries and Comments) から8版の17.7.2 (Blog Entries and Comments) など、用語の微少な変化もあるが、7版では存在しなかった項目 (* を表示) が、8版では17.7.3 (Social Networking Services) として新設され、さらに9版で17.7.3 (Social Media) と題が変更された例もある。7版の17.7 (Informally Published Electronic Sources) から8版の17.7 (Websites, Blogs, Social Networks, and Discussion Groups)、9版の17.5 (Websites, Blogs, Social Media) への用語変更は、非公式な情報源としての扱いから現在に至るまでの取扱いの変化を示している。

このように、7版から8版は題の一部変更に残ったが、9版では目次の構成・題名ともに大幅に改編された跡が認められる。

以下、表5の本文について比較する。

(1) 批評 (Reviews)

7版の17.5.4 (Reviews) は、オンラインの批評に対し、指示・例示が無い。8版は、URL、アクセス日を付けるよう指示・例示している (17.5.4)。9版は、URL を付けるよう指示・例示している (17.9.2)。

(2) パンフレットと報告書 (Pamphlets and Reports)

7版の17.5.6 (Pamphlets and Reports) は、オンラインのパンフレットと報告書に対し、指示・例示が無い。8版は、URL、アクセス日を付けるよう指示・例示している (17.5.6)。9版は、

【表5】 目次（17.5-17.10）比較

7th ed.	8th ed.	9th ed.
17 Notes-Bibliography Style: Citing Specific Types of Sources		
17.5 Additional Types of Published Sources		
17.5.1 Classical, Medieval, and Early English Literary Works		17.8 Older Works and Sacred Works
17.5.2 The Bible and Other Sacred Works		17.8.1 Classical, Medieval, and Early English Literary Works
17.5.3 Reference Works		17.8.2 The Bible and Other Sacred Works
17.5.4 Reviews		17.9 Reference Works and Secondary Citations
17.5.5 Abstracts		17.9.1 Reference Works
17.5.6 Pamphlets and Reports		17.9.2 Reviews
17.5.7 Microform Editions		17.2.7 Abstracts
17.5.8 CD-ROMs or DVD-ROMs		17.7.3 Pamphlets and Reports
17.5.9 Online Databases	17.5.9 Online Collections	*
		*
		17.7.5 Online Collections
17.6 Unpublished Sources		
17.6.1 Theses and Dissertations		17.7 Papers, Lectures, and Manuscript Collections
17.6.2 Lectures and Papers Presented at Meetings		17.7.1 Theses and Dissertations
17.6.3 Interviews and Personal Communications		17.7.2 Lectures and Papers Presented at Meetings
		17.6 Interviews and Personal Communications
		17.6.1 Interviews
		17.6.2 Personal Communications
17.6.4 Manuscript Collections		17.7.4 Manuscript Collections
17.7 Informally Published Electronic Sources		
	17.7 Websites, Blogs, Social Networks, and Discussion Groups	17.5 Websites, Blogs, Social Media
17.7.1 Web Sites	17.7.1 Websites	17.5.1 Website Content
17.7.2 Weblog Entries and Comments	17.7.2 Blog Entries and Comments	17.5.2 Blog Posts
17.7.3 Electronic Mailing Lists	17.7.4 Electronic Discussion Groups and Mailing Lists	17.5.4 Online Forums and Mailing Lists
*	17.7.3 Social Networking Services	17.5.3 Social Media
17.8 Sources in the Visual and Performing Arts		
17.8.1 Visual Sources	17.8.1 Artworks and Graphics	17.10 Sources in the Visual and Performing Arts
17.8.2 Live Performances		17.10.1 Artworks and Graphics
17.8.3 Television Programs and Other Broadcast Sources	17.8.3 Movies, Television, Radio, and the Like	17.10.2 Live Performances
17.8.4 Sound Recordings		17.10.3 Multimedia
17.8.5 Video Recordings	17.8.3 Movies, Television, Radio, and the Like	17.10.3 Multimedia
17.8.6 Online Multimedia Files	*	17.10.3 Multimedia
17.8.7 Texts in the Visual and Performing Arts	17.8.5 Texts in the Visual and Performing Arts	17.10.4 Texts in the Visual and Performing Arts
17.9 Public Documents		
17.9.1 Elements to Include, Their Order, and How to Format Them		17.11 Public Documents
17.9.2 Congressional Publications		17.11.1 Elements to Include, Their Order, and How to Format Them
17.9.3 Presidential Publications		17.11.2 Congressional Publications
17.9.4 Publications of Government Departments and Agencies		17.11.3 Presidential Publications
17.9.5 U.S. Constitution		17.11.4 Publications of Government Departments and Agencies
17.9.6 Treaties		17.11.5 U.S. Constitution
17.9.7 Legal Cases		17.11.6 Treaties
17.9.8 State and Local Government Documents		17.11.7 Legal Cases
17.9.9 Canadian Government Documents		17.11.8 State and Local Government Documents
17.9.10 British Government Documents		17.11.9 Canadian Government Documents
17.9.11 Publications of International Bodies		17.11.10 British Government Documents
17.9.12 Unpublished Government Documents		17.11.11 Publications of International Bodies
17.9.13 Online Public Documents		17.11.12 Unpublished Government Documents
		*
17.10 One Source Quoted in Another		
		17.9.3 One Source Quoted in Another

URL を付けるよう指示・例示している (17.7.3).

(3) 学位論文と博士論文 (Theses and Dissertations)

7版の17.6.1 (Theses and Dissertations) は、オンライン・データベースで参照した博士論文に対してデータベース名, URL, アクセス日を付けるよう指示・例示している。8版はオンラインのドキュメントに対して URL, アクセス日を付けるよう指示・例示し, 図書館や商業データベースの場合は, アクセス日に加え, URL の代わりにデータベース名を付けてよいと指示・例示 (ProQuest Dissertations & Theses) している (17.6.1)。9版は, オンラインの場合は URL を付けるよう指示・例示し, 機関リポジトリや商業データベースの場合は, URL の代わりにその名前を付けることができると指示・例示 (ProQuest Dissertations & Theses Global) している (17.7.1)

(4) 会合で発表された講演とレポート (Lectures and Papers Presented at Meetings)

7版の17.6.2 (Lectures and Papers Presented at Meetings) は, オンラインの「会合で発表された講演とレポート」に対し, 指示・例示が無い。8版は, URL, アクセス日を付けるよう指示・例示している (17.6.2)。9版は, URL を付けるよう指示・例示している (17.7.2)。

(5) ウェブサイト (Website)

7版の17.7.1 (Web Sites) は, 書籍や定期刊行物以外のオンライン資料に対し, 著者名, ページの表題, サイトの表題または所有者, URL, アクセス日を付けるよう指示・例示している。8版は, 7版に加え刊行または改訂の日付を付けるよう指示・例示している (17.7.1)。9版は, 著者, ページの表題, サイトの表題, サイトの所有者または広告主, URL を付けるよう指示・例示し, アクセス日は資料から日付を得られなかった場合のみとしている (17.5.1)。

(6) ブログ (Blog)

7版の17.7.2 (Weblog Entries and Comments) は, ウェブログに対し, ウェブ・サイトのパターンに従って, 著者の名前と掲示日を付けるよう指示・例示 (N) している。8版は, ブログを新聞記事のように, 著者, タイトル, ブログ名, 掲示日に URL, アクセス日を付けて指示・例示している (17.7.2 Blog Entries and Comments)。9版は, ブログを雑誌 (magazines) と新聞のように引用できることが示され, 記事のタイトル, ブログ名は付けるよう指示し, 例示には, 著者, タイトル, ブログ名, 掲示日, URL が示され, アクセス日は無い (17.5.2)。

(7) メーリング・リスト (Mailing Lists)

7版の17.7.3 (Electronic Mailing Lists) は, 電子メーリング・リストに対し, 著者名, リスト名, 掲示日を付けるよう指示し, アーカイブ化されていればその URL, アクセス日も入れると指示・例示 (N) している。8版は, 電子討議グループやメーリング・リストの資料について, 投書者名, フォーラムのタイトル, eメールの件名, フォーラム名やリスト名, メッセージや掲示の日時を付け, アーカイブ化されていればその URL, アクセス日も入れると指示・例示 (N) している (17.7.4)。9版は, オンライン・フォーラムやメーリング・リストの資料について, 投書者名, 件名や筋道 (thread) のタイトル, フォーラム名やリスト名, メッセージや掲示の日時, そして URL を付けると指示・例示 (N) している (17.5.4)。

(8) ソーシャルメディア (Social Media)

7版は, ソーシャル・メディアに対する項目自体が無い。8版の17.7.3 (Social Networking Services) は, 投稿された情報の引用について, 投稿者の身元 (identity), サービス名, 投稿の日時, URL, アクセス日を付けるよう指示・例示 (N) している。9版の17.5.3 (Social Media) は, ダイレクトメッセージや他の個人的内容の引用について, 私信 (17.6.2 personal

communications) のガイドラインに従うよう指示し、公的に投稿された内容に対しては、個人または団体の名前に加えたハンドルネーム、投稿の本文 (160字まで)、投稿の種類 (photo, video など)、日付 (区別のためタイムスタンプも可)、URL を指示・例示している。

(9) オンライン・マルチメディア・ファイル (Online Multimedia Files)

7版の17.8 (Sources in the Visual and Performing Arts) は、オンライン・マルチメディア・ファイルに対し、オンラインの絵画・彫刻・写真・その他の芸術作品・演劇・音楽・ダンス・放送番組は、すべて17.8.6 (Online Multimedia Files) を参照するよう指示している。17.8.6は、オンライン・マルチメディア・ファイルに対してできるだけ多くの情報を提供すべきこと、その上で、オンライン・サイトの表題、ファイルの種類、ファイルに出現している時間、URL、アクセス日を入れるよう指示・例示している。8版は、オンラインの絵画・彫刻・写真・グラフィックアート・映画・テレビ・ラジオ・録音は、すべてURL、アクセス日を含むよう指示・例示 (N) している (17.8)。9版は、オンラインの絵画・彫刻・写真・グラフィックアート・映画・テレビ番組・ラジオ番組・録音は、すべてURLを含むよう指示・例示 (N) し、グラフィックアートについては、更新された資料にはアクセス日を入れるよう指示・例示 (N) している (17.10)。

(10) 公的文書 (Public Documents)

7版の17.9 (Public Documents) の下位項目17.9.13 (Online Public Documents) は、オンラインの公的文書に対し、URL、アクセス日の他に、確定される限り全出版情報を提供するよう指示・例示している。8版は、URLまたはデータベース名、アクセス日を含めるよう指示している (17.9.1, 17.9.13)。9版は、URLまたはデータベース名を含めるよう指示し (17.11)、各種公的文書に対しては個別に補足的に指示・例示している (17.11.1)。7版8版の項目 (17.9.13) に該当する項目は9版に無い。

4. まとめ

オンライン資料は、資料の種類・入手法・入手先などこれまでに見られなかった新しい要素を生み出してきている。また、紙媒体中心の従来型資料に比べて情報の流動性が高く原典の同定方法が不安定である。こうした点を踏まえながら、今回の結果から得られた知見を以下に総括する。

- (1) 9版 (2018) の第17章17.5-17.10の目次は、配列順序・階層構造・用語選択のすべての面で8版までと異なり、再編成の跡が見られた。それ以外は、7版 (2007) から11年間、目次の題の用語に変更は加えられたものの目次構成に変化は認められなかった。
- (2) 7版 (2007) は、オンライン資料そのものが「非公式に出版された」ものであり、「本質的に信頼性で劣る」と評価していた。しかし、8版 (2013) 以降はそうした断定は消え、オンライン情報が変更を受けやすい性質があることから、情報の権威と信頼性を疑わせるという指摘に留めている。類似の変化として他に、7版 (2007) の「非公式に出版された電子資料 (17.7 Informally Published Electronic Sources)」という題から、9版 (2018) の「ウェブサイト、ブログ、ソーシャルメディア (17.5 Websites, Blogs, Social Media)」という題への変更がある。
- (3) 7版 (2007) の「学術雑誌の記事 (17.2 Journal Articles)」の下位項目の最後は「オンラインで公表された記事 (17.2.7 Articles Published Online)」であり、オンラインの記事についてはその中だけで指示・例示している。しかし、8版 (2013) 9版 (2018) にはこの項

目が無く, 17.2 (Journal Articles) の一般的説明の中でオンラインの記事について指示し, 17.2.1-17.2.6の全項目にオンラインの記事の例示を出している。これは7版(2007)ではオンライン記事を新種の資料として新規項目を立てて扱ったが, 8版(2013)以降はオンライン記事を媒体の違いとしてのみ指示・例示し, 記事一般として扱うようになったことを意味している。

- (4) 7版(2007) 8版(2013)は原典を同定する要素として広くアクセス日を認めていたが, 9版(2018)になるとウェブサイトの「資料から日付を得られなかった場合」を例外として, アクセス日を認めなくなった。代わりに, DOIを重要視するようになった。
- (5) 7版(2007)の「ウェブログの記載事項とコメント(17.7.2 Weblog Entries and Comments)」で, ブログはウェブ・サイトに従うとされた。しかし, 8版では新聞記事に, 9版ではマガジンと新聞に似たものとして指示されている。このように, 比喩の対象が変動しつづけている事実からも, オンライン資料同定の困難さを伺うことが出来る。

参考文献

- トゥラビアン, ケイト・L『シカゴ・スタイル研究論文執筆マニュアル』ウェイン・C・ブース, グレゴリー・G・コロンブ, ジョセフ・M・ウィリアムズ, シカゴ大学出版局エディトリアル・スタッフ改訂, 沼口隆, 沼口好雄訳 慶應義塾大学出版会 2012
- Turabian, Kate L. *A mamnjumnuual for writers of research papers, theses, and dissertations: Chicago Style for students and researchers*. Revised by Wayne C. Booth, Gregory G. Colomb, Joseph M. Williams, and the University of Chicago Press editorial staff. 7th ed. Chicago: University of Chicago Press, 2007 電子版はPDF (<http://jcs.edu.au/wp-content/uploads/2016/09/A-manual-for-writers-of-research-papers-theses-and-dissertations.pdf>) に拠る。
- Turabian, Kate L. *A manual for writers of research papers, theses, and dissertations: Chicago Style for students and researchers*. Revised by Wayne C. Booth, Gregory G. Colomb, Joseph M. Williams, and the University of Chicago Press editorial staff. 8th ed. Chicago: University of Chicago Press, 2013 電子版はPDF (https://bawar.net/data_0/books/5d70f76b2926c/pdf/Manual_for_Writers_of_Research.pdf) に拠る。
- Turabian, Kate L. *A manual for writers of research papers, theses, and dissertations: Chicago Style for students and researchers*. revised by Wayne C. Booth, Gregory G. Colomb, Joseph M. Williams, Joseph Bizup, William T. FitzGerald, and the University of Chicago Press editorial staff. 9th ed. Chicago: The University of Chicago Press, 2018 電子版はKindleに拠る。